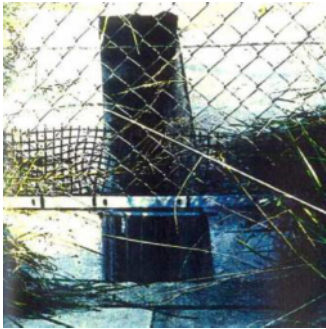


配慮の視点	種の多様性への配慮	配慮項目	野生生物の生息・生育環境の保全・創出
配慮事項	騒音などの防止		
配慮事例	交通事故を防ぐための道路への侵入防止柵などの設置		
内容	<p><b>●侵入防止柵の設置</b></p> <p><b>【解説】</b></p> <p>動物の生息環境の中に道路が造られると、道路に侵入する可能性が生じます。これは車両との衝突事故につながるなど、道路の走行の安全性に問題が生じます。そのため、必要に応じて動物を道路に侵入させない工夫を検討します。</p> <p><b>【具体的な工法・配慮事項】</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div data-bbox="300 786 930 1167" style="width: 45%;"> </div> <div data-bbox="943 763 1453 1189" style="width: 50%; border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 近傍に移動経路をつくり、生活圏や行動域を分断しないようにする。</li> <li>② 構造物に接する部分は隙間ができないようにする。</li> <li>③ 末端部分の構造は細部にわたって検討し、侵入できないようにする。</li> </ol> </div> </div> <p>出典: 1</p> <p><b>【事例】</b></p>  <p>出典: 2</p> <div data-bbox="715 1256 1442 1648" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p><b>【場所】</b> 兵庫県 北近畿豊岡自動車道</p> <p><b>【環境配慮の内容と方法、工法】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現地調査の結果を基に、尾根に囲まれた谷筋が動物の移動しやすいブロックと考え、ブロック毎に1箇所以上横断路を設置することとし、その他の道路沿いには侵入防止柵を設置した。</li> <li>・ 侵入防止柵は隙間を作らないよう地中に埋め込んだり、排水路と交わる部分には蓋をするなど構造を工夫した。</li> </ul> </div>		
	留意点		
参考資料	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 「エコロード 生き物にやさしい道づくり」 亀山章編、ソフトサイエンス社</li> <li>2 「道路環境影響評価の技術手法 2007年改定版」(財)道路環境研究所</li> </ol>		